

Akatake Times

Vol. 11
(通算 第164号)

暦の”大寒”は、毎年必ずといってもよい程寒波が押し寄せて大雪や嵐に驚かされます。でもその後の”立春”の頃には、まだ去ってはくれない寒さの中にふと春の日差しと土のおいがあるのです。その度に嬉しさを感じます。日本の四季は素晴らしい。。。

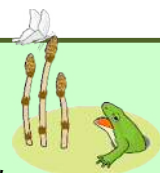


『生まれ変わった姫路城』



皆さんご存知だと思いますが、日本初の世界文化遺産となった「姫路城」が、2009年10月より外壁の塗り替え、内部の補修等の工事を始め、昨年3月27日にグランドオープンしました。世界文化遺産ということもあり、姫路城には国内はもとより海外からの観光客が毎日たくさん来ているようです。白鷺城の別名のとおり、外壁が写真のように真っ白な状態で見れると思いますので、興味のある方は是非見に行ってください。

撮影日時: 2015年6月1日 撮影と文: 製造部 メンテナンスグループ 小野さん



啓蟄の候、厳しい寒さが和らぎ、暖かい季節を迎えるこの時期はなんとも言えない解放されたような安堵感を覚えます。とは言え、季節の変わり目ですから健康には十分留意していきたいものです。

■先日、13歳の女子中学生とゴルフをラウンドする機会に恵まれました。彼女は、ジュニアの世界選手権に出場する腕前と聞いていました。なるほど、ウーンとうなるほど素晴らしいプレーを見せてくれます。聞けば、ご両親の勧めがあって7歳の時からゴルフを始めたとのこと。飛距離といい、正確さといひすべてが素晴らしい。思わず私は、彼女の名前を〇〇ちゃんというのではなく、〇〇さんと声をかけるのです。周りの方からは、13歳の子供に(しかも女の子)〇〇さんはおかしいねと言われましたが、私はとても“ちゃん”付けで云えませんでしたね。大人に交じっても、物おじしく堂々として礼儀正しい。しかも私と比べて断トツにゴルフがうまい。そんなわけであたかも先輩のように思えてなりません。思わず〇〇さんとなるわけです。若くても一芸に秀でている人に会えるのはこの上ない喜びであります。周りの“ちやほや”に惑わされることなく大成してほしいと願っています。私も妥協と馴れ合いのゴルフでなく、一からやり直そうかな。



■人と会って感銘を覚えることもあり、本との出会いもあります。歌人・斎藤茂吉の長男であり、作家の北杜夫の実兄である 斎藤茂太のエッセイから・・・。

『思わず一歩退くくらいなら、思わず一歩進んでみよう』

ある御曹司の息子が順風満帆の人生から環境の変化で、どん底に陥った。一念発起、いろいろな事業に手を出したがごとく失敗し、大赤字を背負ってしまった。失意の中で他人(ひと)から“あなたはラッキーだ。人間が1回失敗してそこからまた立ち上がることを体験できるのだから”と言われ、再チャレンジし見事成功を収めた。不幸と見える体験もラッキーに変えられる。意志さえあればある程度は自分になりたいように自分をつくりかえることができるのである。

『朝は四足、昼は二本足、夕暮れから足が三本になるものなに』という有名な“なぞなぞ”がある。人は歩かなくなっている。いつぞや京都で修学旅行の中学生たちに出会ったとき、彼らの移動はタクシーを使うのが普通だと聞いた。驚くと同時に少しばかり心配になった。“廃用性萎縮”といって、使わなければ次第に衰えてしまうのだ。私はずっとヒトでいたい。毎日できるだけ小一時間は歩く。脚の調子が今ひとつならステッキも使う。三本足にもなるのである。

『正面を突くのは無策、意表を突くのが対策』お馴染み ディズニーシーの話。一番人気は見物人に思い切り容赦なく水をかける。それがお客の熱狂的な支持を集める。一昔前ならお金を払ってくれたお客を水浸しにするアイデアなど、会議で総スカンを食ったのではないかと、サプライズ、人の意表を突くことは現代ビジネスの要となっている。絶世の美女と言われたクレオパトラが敵国皇帝のシーザーを射止めた話。クレオパトラがシーザーに初めて出会うとき、カーペットに自分の体を巻き付けて身を隠し、エジプトからの贈り物ですとシーザーのもとに届けさせ、一瞬にしてシーザーの心をとらえてしまった。なにも今だけでなく、大昔にもサプライズがあったのだ。

『他人に花をもたせよう。自分に花の香りが残る』ボランティア活動から帰った人は、人間としてひとまわり大きくなって仕事面でもその大きさをいかに発揮できるようになる。人のために何かができることを確かに感じる。そんな経験は以外にも自分にも大きな喜びを与えてくれる。

老舗の和菓子店のハナシ。『美しい人生を見たいなら心の窓をきれいに磨くことだ』死語になった“お駄賃”。今の子どもは、ほしいものはみんな親や祖父母が買ってくれる。働いたり手伝いをしなくてもお小遣いを手にできる。これではお金のありがたみも働く喜びも知らぬまま成長する子供が増えてしまう。そんな子どもがニートになったところで、子供だけを責めることはできないのではないかと。最近、日本では若い映画監督が実にいい作品を撮り始めている。レンタルビデオが普及してから育った世代が台頭してきたからだという。小中学生の頃からたくさんいい映画を見ることができるといいことだ。子供時代から心を磨くのだ。



以上 もっともだという内容ですが、著名な方が語ると重みがあります。

【斎藤茂太:1916年3月 - 2006年11月、医学博士・精神科医】

■失敗学で著名な畑村洋太郎先生いわく、失敗とは、人間関わったひとつの行為が、望ましくない、あるいは期待しないものになることである。・・・次回は、畑村先生の失敗学に触れてみたいと考えています。

ご安全に！

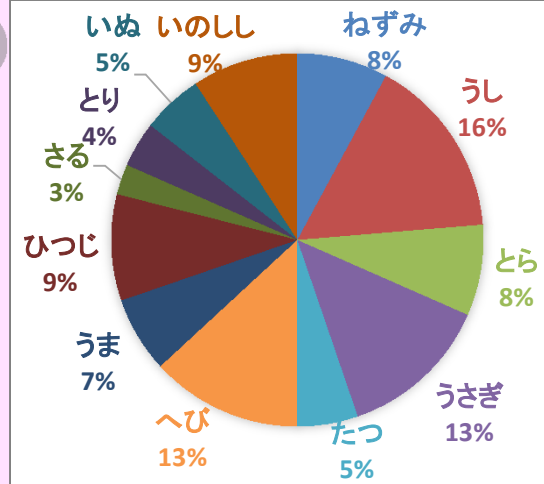
代表取締役社長 赤堀 肇紀

なんでもグラフで見てみよう！のコーナー

～ 干支の巻 ～

右のグラフは、当社社員の干支の割合です。傾向として「うし、うさぎ、へび」が多いです。一番多い丑年は、初めはゆっくりしていますがエンジンがかかってくると物凄いパワーを発揮します！

皆さん自分の干支が何を意味しているのか知っていますか？
ここで少しだけご紹介します！！



| 干支 | 意味 | 干支 | 意味 |
|----|--------------|----|---------------|
| 子 | 子孫繁栄の象徴 | 午 | 粘り強さと誠実の象徴 |
| 丑 | 粘り強さと誠実の象徴 | 未 | 家族安泰の象徴 |
| 寅 | 決断力と才知の象徴 | 申 | 利口と好奇心の象徴 |
| 卯 | 温厚さと従順さの象徴 | 酉 | 積極的な行動と素早さの象徴 |
| 辰 | 正義感と信用・権力の象徴 | 戌 | 忠誠・献身・安全の象徴 |
| 巳 | 再生の象徴 | 亥 | 無病息災の象徴 |



間違いやすい敬語

日本語は言い回しや一文字違いでも、文章の解釈が変わってしまうほど世界でも難しい言語です。社会人にとって敬語は必要ですが、使い方に注意したいことばをご紹介します。



★本日は休みをいただいております

「本日休みを取っております」などにしましょう。「いただく」では、自社に対する敬意となってしまいます。

★了解しました

敬意のないフランクな表現になります。「承知しました」または「かしこまりました」を用いるようにしましょう。

★「小職」または年下なのに「小生」

「小職」は公務員などの公職の人がへりくだる言い方。一般的な会社員などが使う言葉ではありません。「小生」は自分と同等か、それよりも下の人に対して使う言葉なので目上やお客様にはNGです。相手に対して謙遜しているつもりが、逆に失礼な態度をとっていることになってしまうのです。諸説ありますが一般的には「私」を使うのが無難でしょう。

★名前、電話番号を聞く時

「お名前をもう一度いただけますでしょうか？」は適していません。貰うものではなく、聞くことなので「お名前をもう一度伺えますでしょうか？」となります。

★よろしかったでしょうか？

レストランなどでオーダーをした時に最近よく耳にする言葉ですがこの場合は「こちらのオーダーでよろしいですか？」の現在形のほうが自然ですね。

| | | | |
|---------------------------------------------|---------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------|
| ○ × 「素直らしいですね」 | ○ × 「そりがはお上手ですね」 | ○ × 「社長の頑張りのおかげです」 | ○ × 「大変感謝いたしました」 |
| 「さすがお上手は相手を自分の尺度で評価している。上から目線の言い方になる恐れがある。」 | 「そりがはは相手への敬意が足りない。」 | 「社長の頑張りのおかげです」には、偉大なニュアンスも「ご尽力」とすることで尊敬語になる。」 | 「大変感謝いたしました」は「感謝」ではなく「感謝」の印象を与えてしまう。「感謝」を使う。 |
| | | | ○ × 「いつもお世話になっております」 |
| | | | 「お世話さま」は世話になった相手への敬意を表すが、敬意が軽い。目上の人を使うと失礼に当たる。 |